

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

① 橋本俊昭著『日本の構造』 講談社

(2021年3月刊, 253p, 新書判)

いまや中間層が減少し、富裕層と貧困層が目立つ「格差社会」になったといっても過言ではない日本社会。経済効率性達成のために格差は必要との考えがあるが、人間社会にとって平等の価値は高いという見方もある。著者は、どちらを好ましいとみなすかは人々の生き方の違いや価値判断などに依存していると指摘。そのうえで、日本経済の現在の姿について人々に判断の材料を提供できるよう、50の統計データを分析してまとめた。まず、日本経済を活性化するにはベンチャー企業の開業が最も重要だと述べ、日本の開・廃業率が他国の3分の1にとどまっている点を問題視。もっとリスク愛好的になってもいいのでは、と説く。労働人口の70%超が第3次産業で働いていることについて、女性の労働進出を推し進めていると分析しながら、生産性の低さを指摘している。

② 相原孝夫著『職場の「感情」論』 日本経済新聞出版

(2021年3月刊, 272p, 四六判)

2020年度は、新型コロナウイルスのまん延による外出自粛要請のなか、多くの人々が突然に「リモートワーク1年生」となった1年だった。リモートワークは働き方改革の一環として取り組まれたが、あまりに急だったため、何の準備もないままに始めた企業が少なくなかった。著者は、各企業ではリモートを進めていくために従業員満足度の増加だけでなく、生産性の向上も目指していると指摘。コロナ後の世界の働き方では、リモートと「リアル」が一定割合のハイブリッドなスタイルとなっていく可能性が高いとみなし、組織リーダーはそのためのマネジメント能力を磨いておく必要があると警鐘を鳴らす。より複雑化した環境下、労働者一人ひとりの状況を把握し、不安や不満を解消し、高い生産性を維持できるよう、サポートしていくことが求められるという。

著者がとくに重視するのは職場での「感情」の問題だ。ダイバーシティの進展により、職場の人材は多様化し、一人ひとりの思いや感情を把握するハードルは上がり続けていると解説。今後の理想は「一緒に働く仲間のために頑張る」職場だと主張する。

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2021年5月～6月労働図書館受け入れ)

③ 中島輝著『働く人のための自己肯定感』

朝日新聞出版 (200頁, 文庫判)

④ 山谷清志ほか編著『地域を支えるエッセンシャル・ワーク』

ぎょうせい (iv+277頁, A5判)

⑤ 後藤浩士著『経営学概論』

学文社 (7+203頁, A5判)

⑥ 内海京久ほか編著『イノベーション実現の条件』

文眞堂 (ix+246頁, A5判)

⑦ 今野浩一郎著『同一労働同一賃金を活かす人事管理』

日経B P (ix+262頁, A5判)

⑧ 高井・岡芹法律事務所編著『使用者のための解雇・雇止め・懲戒相談事例集』

青林書院 (xi+435頁, A5判)

⑨ 長谷川珠子ほか著『現場からみる障害者の雇用と就労』

弘文堂 (xii+375頁, A5判)

⑩ 浅見和彦著『労使関係論』

旬報社 (293頁, 四六判)

⑪ 楠木新著『定年後の居場所』

朝日新聞出版 (263頁, 新書判)

⑫ 労働政策研究・研修機構著『テレワーク』

労働政策研究・研修機構 (88頁, A4判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書126,779冊、洋書33,015冊、和洋の製本雑誌27,479冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(260種)、洋雑誌(139種)、紀要等(530種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30～17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています



※現在、新型コロナウイルス流行の影響で臨時閉館している場合があります。開館情報はHPでご確認下さい。